

## 夏の日

---

七月の終わり 雨ももう上がりそうだし  
太陽がもっと出てきて 向日葵も喜びそうだな  
窓からは綺麗な虹が見える その向こうに白い雲が  
青い空後ろに従えて モクモクと元気そうだ

八月最初の 週末は花火大会  
浴衣着て髪をあげて 草履を履いたら完璧よ  
川岸に君と並んで座り 上を見上げ手をつないで  
少し照れてる二人の姿 花火が照らし出すのよ

そんな予定だったの 突然君がいなくなるとは  
思ってもみなかった私は 涙に暮れる以外できない

八月半ばの 蝉の声うるさいくらい  
太陽は頑張りすぎ 私のぶんまで明るいのか？  
祭壇に花供えお線香 あげて手を合わせて祈る  
向こうに居ても私のことを 忘れないでいてほしい

私寂しいよ 一人で過ごす夏は